

溝小だより

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校

学校通信 No.396

令和8年8月31日

文責：小山孝昭

2学期が始まりました

8月25日は、2学期スタートの日。未だ夏の日差しが照り付けるこの日、約1ヵ月間の夏休みを終えた子ども達が、たくさんの荷物と思い出を抱えて登校しました。1学期終業式の約束通り、63名の全校児童が出席し、全員そろってスタートを切ることが出来ました。これも家庭や地域の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

始業式では、2学期にみんなでがんばりたいことを確認しました。それは、「あいさつ」です。なぜなら、学校教育目標や経営方針の柱である「つながる」に関わり、対話という点で「あいさつ」は大切な役目を果たすからです。その大切な役目について「あいさつが開く4つのとびら」と題して子ども達に語りかけました。

「あいさつが開く4つのとびら」

① 自分のとびら ② 相手のとびら ③ 世界のとびら ④ 幸福のとびら

①②「自分・相手のとびら」とは、「心のとびら」です。お互いが心を開き、心を通じ合わせることで、友達や仲間をつくることができるということです。

③「世界のとびら」とは、世界の国々のあいさつを知ること、世界中の人々とつながることができるということです。

④「幸福のとびら」とは、「あいさつ」をすることで幸福度が上がるという研究結果から、「あいさつ」が気持ちや心に良い影響を与えるということです。

「あいさつ」は当たり前のことと思われがちですが、この当たり前のことがしっかり身に付くことが大切です。しっかり身に付くとは、大人になってもやり続けるということです。子ども時代だからこそ身に付くことであり、身に付けなければなりません。子ども達には、「あいさつ」は、「いつでも」「どこでも」「だれとでも」ということを話しました。家庭や地域の中でも、意識して子ども達とのあいさつを心がけていただければと思います。

本校ホームページへ
こちらからどうぞ



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生